

展示会

二奏一曲

小松宏誠の作品と早崎主機が選ぶ古書・古物

会場 HUNCH (東京・大田区蒲田)

会期 2018年5月12日(土) - 16日(水) 15:00 - 20:00

オープニングパーティ

5月12日(土) 16:00 -

恵比寿のビストロ「ル・リオン」
全面協賛! 美味しいワインとおつまみ各種をご用意して、ご来場をお待ちしております!



Exhibition

Niso-ikkyoku

Our friendship, or recent works of K.Komatsu & selected antiques by S.Hayasaki

HUNCH (TOKYO Kamata)

5.12,2018 (Sat) - 5.16 (Wed) 15:00 - 20:00

早崎主機

Shuki Hayasaki

1980年石川県生。2004年早稲田大学第一文学部卒。同年、古書籍を扱うビーブックスストア設立。2007年、株式会社フォルムコーポレーション設立・代表就任、現在に至る。国内外の古書・古物を取扱う。

すべての素晴らしい出逢いがそうであるように、私たちの出逢いは不思議で、けれど思えば、それしかない必然のかたちをとっていました。その日から10年間、お互いに異なる領域で、美しいものとは何か、佳いものとは何かを語り合い、イメージを共有してきました。

小松宏誠の手から産み落とされる生命の相似形のような作品群に、いま、その魅力があらたに顕われるべき古書・古物を、HUNCHに於いてひとつに並べ、これらが時に和音となり連なり、時に不協和音となり相反しあいながら、全体として確かなハーモニーとして響き合うさまをご覧にいたします。

いま、二人で一つの曲を奏でよう。二対で一つとなる屏風の形式「二曲一奴」になぞらえ、このたびの展示会を「二奏一曲」と題す次第です。

小松宏誠

Kosei Komatsu

1981年徳島県生。2006年東京藝術大学大学院修了後、アーティストグループ「アトリエオモヤ」のメンバーとして活動を開始。2014年に独立。現在、美術館での作品展示をはじめ、商業施設やコンセプトショップなどの空間演出も精力的に行う。

作品を見て、できればゆったりと会場で時間を過ごし、見ない時間も楽しんでみてください。ふいに現れる「作品が呼ぶ瞬間」を共有できるかもしれません。

早崎さんが出会い選んだ長い時間と、瞬間をループさせ続けるような僕の時間をアトリエの1Fに開放しています。



松栄御江戸絵図 | 安政3年 | 江戸青肆 山城屋平助版
幕末期には木版色摺(手摺による彩色木版画)の御江戸絵図が多数制作されました。本図はやや小ぶりながら、刻・摺ともに上質で、今も見るものを魅了してやみません。



Lifelog_mobile_black_1 | 2017 | Kosei Komatsu
黒く染めたガチョウの羽根のモバイル彫刻です。新たな形状と加工方法を模索した作品です。



グリル | 18世紀 | 南フランス
フランス革命期に遡ろうという時期の南仏の回転式グリル。きびしく鍛えられた鉄のフォルムと、そこから静かに落ちるシャドウが絶妙に響き合っています。



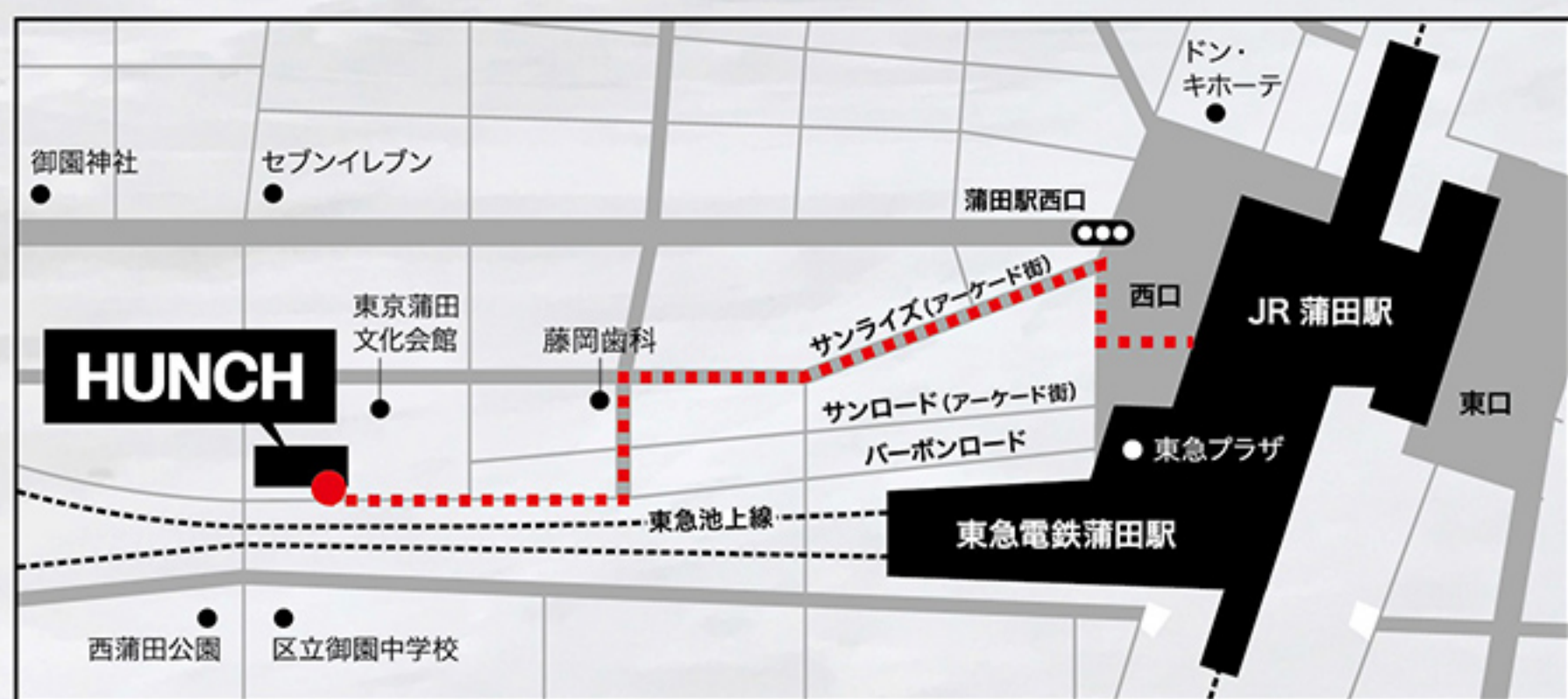
Lifelog_glider_black_5 | 2017 | Kosei Komatsu
羽根のモバイルを浮遊させ続ける事にチャレンジした作品です。サーキュレーターとの配置と強さ、天井の高さ、グライダーのサイズと重さや羽根の角度を微調整し続け実現しています。

HUNCH ハンチ

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-61-13

〈最寄駅〉JR京浜東北線、東急池上線・多摩川線「蒲田」駅西口から徒歩6分

※駐車場はございません



モバイル_ピカサス | 2018 | Kosei Komatsu Studio
Kosei Komatsu Studio によるハンドメイドの小さなモバイルです。1会場につき全て違った配色で用意していますので、出会った配色を是非どうぞ。



堀辰雄「美しい村」| 昭和9年 | 野田書房刊 限定500部
戦前期に刊行された限定本のなかでも屈指の名著。本文用紙のすべてに採られているオーナメントを渡り込んだ手漉紙に、堀辰雄の繊細な作品世界が展開されてゆきます。